



# ほんものを たべよう

提出日  
10/火 水 木 金  
22 23 24 25

配達日  
10/火 水 木 11/金  
29 30 31 1

翌々週分配達日  
11/火 水 木 金  
5 6 7 8

2024. 11月 1 週号

Alter Weekly Order Catalogue

### オルターの提案

- 本当に安全な食べものを手渡すために
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

## 飲料水

# おいしい水を ビン入り・非加熱で

大阪府下一の水質基準AAの石見川の伏流水

## 石見川源流「水の杜」オルター水の会

文責 西川 榮郎(オルター 代表)

### 非加熱の水が飲みたい

飲用水は薬品処理(塩素消毒、オゾン消毒、凝集剤など)や加熱処理をしてしまうと、ミネラルなど成分が変化し身体によくなかったり、おいしくなくなってしまう。

水分子が活性化している水、すなわちおいしい水は生で飲みたいと思います。

### 「水代」ではなく、「水の汲み賃」を

しかし、水を製品として販売しようとする、食品衛生法上、なんらかの殺菌処理工程が義務づけられています。そのため、オルターではこれまで自己責任で生の水が飲める工夫をしてきました。

すなわち、「水の会」の会員になっていただき、「水代」ではなく「水の汲み賃」を支払って、生で飲める水をビン入りで受け取るというシステムです。

### 安全なビン入り

今回で紹介する「オルター水の会」の水は、念のために紫外線照射を行い、最低限度の殺菌を施しています。またビン入りにしている理由は、プラスチック容器からの化学物質の溶出や、マイクロプラスチックやさらに小さな粒子のプラスチックの心配のない安全な容器として採用しています。

### 新しい水の会

このオルター水の会は、昨年まで「四季の里水の会」として活動してきましたが、破壊的な大雨のため、そのプラントが復旧不能になるまで壊されてしまいました。そのため、新しい水源を求めて、今回ご紹介する石見川源流「水の杜」オルター水の会を発足させることになりました。

### おいしい伏流水

石見川とは大阪を流れる2番目の大きさの大河の上流の石川、さらにその上流の川です。

石見川の河川水質は「AA類型」で、大阪府下一



の優れた水質で、全国レベルでも最も良質な水質といえます。石見川の最上流地域にある取水口は有名な「行者湧水」から上流1.5km地点、砂防ダム底部から湧く「伏流水」です。この取水口は峠に近く、その上流には人家、畑など人工物はありません。その取水口から700m下流の元木材倉庫までホースで水を運び、四季の里から移設した水処理装置(紫外線殺菌、フィルター濾過)を通したあと、水ビンに充填しています。水質検査で飲用「適」のおいしい軟水であることを確認しています。

### 石見川源流「水の杜」

石見川源流「水の杜」の水は、もともと石見川最上流石見川部落の水源のひとつでした。「水の杜」主宰者北野アツコさんが取得した旧木材倉庫に、その取水口からホースで運ばれてきた水が利用できるようになっていました。

北野アツコさんはかつて国際交流で多言語交流の活動をしてきました。阪神大震災や東日本大震災を見て、「環境」「食」「手作り活動」に目覚め、大阪市内のマルシェで、野菜茶活動していた仲間から現在地を紹介され、購入されました。

### 水源を守る活動

大阪府下の各市町村での水道事業の現状は、「大阪広域水道企業団」の水、すなわち「淀川の水」への切り替え、一本化が進んでいます。ほとんどの市町村において自己の水源、浄水場で製造する割合はほぼ失われています。自己水源を70%程度保っている河内長野市はまだ守られているほうで、お隣の千早赤阪村では、岩井谷浄水場(標高360m)が老朽化と山の保水力の低下により、数年後には廃止の計画があるそうです。本来なら金剛山系の豊かな水源を守るための水道事業であるべきと「水の杜」では、仲間たちと一緒に、水源涵養力を高める保全活動に取り組んでいます。

水の会の水汲みは、北野アツコ「水の杜」代表の仲間や、「水の杜」に集うオルター会員やオルタースタッフが担当します。

### 水ビンはリユースします

水の会が使用する水ビンは梅酒ビンをリユースし



「水の杜」主宰者の北野アツコさん(真ん中の列の向かって右から2人目)

て使います。

水に触れるのはガラスビンと中栓(ポリエチレン製)です。ビンの管理(洗い)は原則、会員が担当します。この「水の杜」の水が一番清浄ですので、水道水や石けんなどの洗剤は原則不使用です。ただし、あまりにもフタや容器が汚れている場合、オルターが実費で交換いたします。

水ビンは「会員宅」「オルター」「水の杜」と、注文1口あたり回転させるのに3本必要です。新しく「水の会」会員になれる場合は1本当たり会費5,000円(税込)(ビン代実費1,628円×3本=4,884円)が必要です。四季の里水の会から引き続き継続されている方はお預かりしているビンをこれまで通り続けます。ビンを割られた場合はビン代実費(税込1,628円)で補充いたします。ご家庭に届いた水は、エンバランス12Lのコック付き容器、もしくはガラスビンやエンバランスピッチャーに移してご利用されるのが便利です。



水処理装置

### 水道水、市販の水の問題点

水道水は塩素消毒されていることが一般的で、生水のままの飲用には不適です。これまでにトリハロメタン、トリクロロアミン、農薬、合成洗剤、硝酸イオン、PFAS、鉛(蛇口金属からの溶出)などによる汚染が問題となっています。とくに高層のマンションのように屋上に給水タンクが設置され、その管理が悪い場合、動物の死骸、鉄サビ、濃すぎるカルキの使用などが問題となっています。

市販されているペットボトルの水についても、その地域の水道水をただ充填しているものがあります。

またペットボトルからのマイクロプラスチック(5mm以下1μmまで)や、そのマイクロプラスチックよりさらに小さい1μm未満のものが検出されている報告があります。

ウォーターサーバーに使う、青味がかったガロンボトルの「ポリカーボネートボトル」の原料は環境ホルモンで、大きな問題となっているビスフェノールA(BPA)で、その溶出が心配されます。